

お知らせ

◆公益財団法人水戸市国際交流協会基金へのご支援のお願い

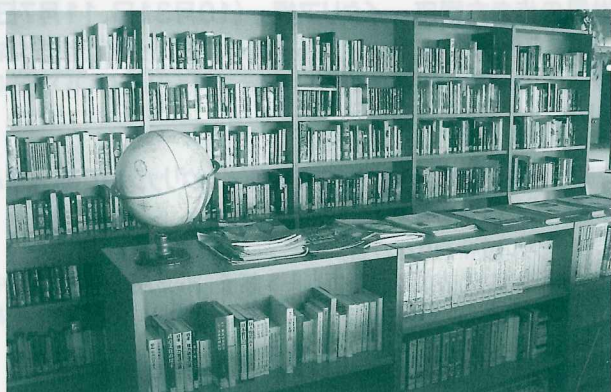
当協会は、国際交流活動の促進や地域の国際化、多文化共生の実現に向けて様々な事業を行っております。今後さらにこれらの活動を充実させていくためには、多くの皆さまからのご支援が必要です。お寄せいただいた寄付金は、水戸市国際交流センターで行われる国際交流促進のための事業に活用されます。皆さまのあたたかいご支援・ご協力を心よりお願いいたします。

当協会への寄付金は、「公益財団法人」への寄付として、税制上の優遇措置が認められています。

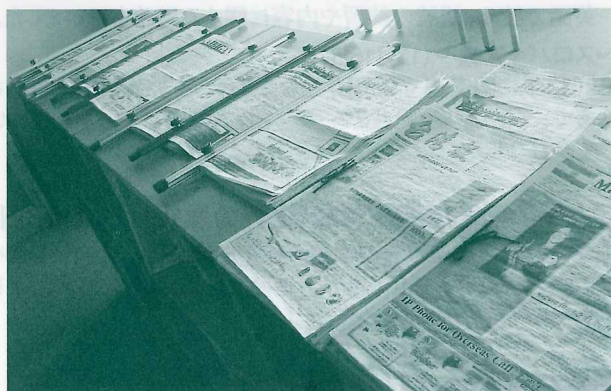
※詳しくは当協会事務局にお問合せください。

◆洋書の貸し出しを行っています

当センターの2階には、日本語教材をはじめ、外国語で書かれた書籍や新聞、様々な言語の辞書などを閲覧できる図書コーナーがあります。ここでは、世界遺産・名所のビデオなどを鑑賞できるほか、1,000冊以上ある洋書の貸し出しも行っていきます。これら洋書のすべては、センター開館から現在まで、センターを利用する外国人市民の善意で寄付されたものです。こうした国際交流の軌跡を感じることができる当センターの図書コーナーを是非ご利用ください。



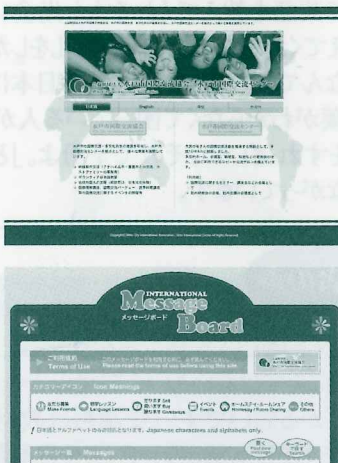
貸し出し期間は2週間です。



英語、中国語、韓国語、インドネシア語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、マレー語の新聞があります。

◆楽しめる水戸市国際交流協会のホームページ

各種講座やイベント情報はもちろん、国際交流協会ならではの特集ページが充実しています。日本の家庭でも作ることができる世界各地の料理レシピや、外国人市民に聞いた「Cool Japan」なインタビュー記事、世界一周の旅をした水戸市出身の女性が世界各地から生きた情報を発信してくれた「世界教室」、外国人市民のための生活情報紙「Culture Pot MITO」(前頁で紹介)のバックナンバーなどをご覧ください。そのほか、「外国の人と交流したい」、「語学の先生を探しています」など自由に情報交換のできるメッセージボードを開設しました。是非ご利用ください。



<http://www.mitoic.or.jp/>

水戸 国際交流 検索

◇機関紙へのご意見や感想をお待ちしています。

開館時間：午前9時から午後9時まで  
休館日：月曜日、祝日(土曜日を除く)

〒310-0024 水戸市備前町6-59  
水戸市国際交流センター内  
(公財)水戸市国際交流協会  
Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793  
<http://www.mitoic.or.jp/>  
E-mail:mcia@mito.ne.jp



# Mito City International Association

(公財)水戸市国際交流協会機関紙  
第44号  
2013.3

## 第30回国際親善姉妹都市アナハイム市 親善訪問及びアメリカ文化・行政視察団

2012年10月28日から11月4日までの8日間、高橋靖水戸市長を団長、村田進洋市議会議員を副団長とした総勢22名の親善訪問団が、国際親善姉妹都市であるアナハイム市を中心にカリフォルニア州の諸都市を訪問してきました。

アナハイム市では、アナハイム市姉妹都市委員会のみさんの案内で、教育現場、企業、市庁舎を含む公的機関など、市の中核部分を間近に見学し、それぞれの現場責任者による業務説明や質疑応答を通じてアナハイム市と水戸市のあらゆる相違点を肌で感じることができました。

また、市役所への表敬訪問では、トム・テイト市長より東日本大震災に対する哀悼の意が述べられるとともに、「震災で目の当たりにした助け合いの精神を見習いたい」として、アナハイム市の地域住民の繋がりを深めるために新たな政策を導入した話などがあり、改めて両市の強い絆を感じることができました。



アナハイム市役所にて(中央が高橋靖水戸市長)

月日(曜)	地名	行程
10月28日(日)	ロサンゼルス アナハイム	成田空港からロサンゼルスへ ロサンゼルス市内視察 アナハイムへ移動
10月29日(月)	アナハイム	アナハイム市友好親善プログラム ○ ディズニーリゾート視察 ○ "World of Color" (噴水とレーザー技術を駆使したアートショー)鑑賞
10月30日(火)	アナハイム	アナハイム市友好親善プログラム ○ アナハイム西高校日本語クラス視察 ○ タイガーウッズ学習センター視察 ○ エクストロン エレクトロニクス社視察 ○ アナハイム市役所及び市長表敬訪問 ○ 警察本部、消防署視察 ○ エンゼルススタジアム視察、歓迎レセプション

月日(曜)	地名	行程
10月31日(水)	アナハイム ロサンゼルス サンフランシスコ ヨセミテ	ヨセミテへ移動 (ロサンゼルス、サンフランシスコ経由)
11月1日(木)	ヨセミテ	ヨセミテ国立公園視察 (ブライダルベール滝、エル・キャピタン、 ハーフドーム、マセッド川など)
11月2日(金)	サンフランシスコ	バスにてサンフランシスコへ移動 フィッシャーマンズ・ワフ、ゴールデンゲートブリッジ、 ツインピークス視察
11月3日(土) 11月4日(日)	サンフランシスコ 水戸市役所着	サンフランシスコ空港から空路、成田空港へ 帰国

# 外国人と日本人が共に暮らしやすい街・水戸を目指して



社会のグローバル化や少子高齢化による労働力人口の減少に伴い、外国人住民の増加や定住化が進んでいます。国籍や習慣・文化は違っても、同じ地域に暮らす住民として、互いに認め合い理解し合い共に生きていく、こうした多文化共生社会の実現を目指し、水戸市国際交流センターを拠点に活動している団体と水戸市国際交流協会が行っている様々な取組みをお知らせします。

## 日本語教室

日本語を理解する能力を身につけることは、日本で生活する外国人市民にとって必要不可欠です。こうした日本語学習を必要としている外国人を対象に、5つの日本語ボランティアグループが水戸市国際交流センターで日本語教室を開き、日本語学習の支援・指導を行っています。

当センターの休館日(月曜・祝日)と春休み(3月末～4月初旬)・夏休み(7月下旬～8月)・冬休み(12月下旬～1月上旬)を除いて、右記日程で授業が行われています。

曜日	名称	時間	レベル	授業料 (1授業毎)
火	オルビス	10:00 ~ 12:00	初級、中級	¥500
水	フレンドリーネイバーフッド		初級、中上級	¥300
	メサフレンドシップ		自由会話	¥300
木	ソフィア		初級	¥300
金	メサフレンドシップ		初級、中級	¥500
土	ラブニール	初級、中級、上級	¥500	

## 日本語教室を密着取材!

決まったカリキュラムに従って日本語を学ぶ学校と違い、この日本語教室の最大の特徴は「学習者のニーズに合わせた授業を行っている」こと。日本語を全く話せない初心者から上級者を対象に日本語の指導にあたる日本語ボランティアの活動と、日本語教室の様子を紹介しします。

9:30 授業前準備 (教材・資料の準備、他の日本語ボランティア団体からの申し送り事項の確認など。)

10:00 授業開始

初めての学習者には、名前や出身国、いつ来日したか等の簡単な会話を通して、日本語のレベルをチェックし、学習者のレベルに合った授業を組み立てます。事前の申込みや予約が必要ないので、どんな学習者が何人来るのか、当日にならないと分からないことは、楽しみでもあり少し不安もあるそうです。



学習者のレベルや日本語を学ぶ目的は様々。日本語を話せるようになることが目的の人も

いれば、読み書きを習得することが目的の人もいます。特に、学校に通う子を持つ保護者は、学校のお便りを理解するために漢字を勉強するケースが多いそうです。それぞれがグループに分かれて、主に日本語教科書『みんなの日本語』を使った授業が行われます。



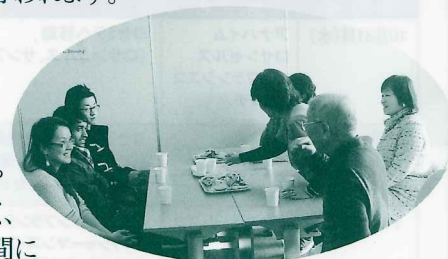
「イラストや写真、地図等を活用するのも効果的」と先生。市販されている教材のほかにも、先生お手製のオリジナル教材も使いながら授業は進みます。

学習者の職業、年齢、性別によって日常会話に必要な単語や話題は異なります。同じテキストの同じ項目を教える場合でも、その学習者のバックグラウンドに合わせた例文や題材を使い分け、より学習者にわかりやすい授業を行うようにしているそうです。



## 休憩

休憩も大事な時間。グループやレベルに関係なく、みんなで同じ時間にお茶を飲んで一休み。早速勉強した日本語を使って実践会話に挑戦する姿も見られます。



12:00 授業終了 (学習者は帰宅)

その後、勉強会やミーティングをして、先生方の1日が終了。

## 先生方へインタビュー もっと知りたい!日本語ボランティアのこと

Q 日本語ボランティアを始めたきっかけは?

A 主人の仕事の関係でアメリカへ駐在したとき、ボランティアで英語を教えてくださいたいと出会う機会がありました。ボランティアで教えてくださいたい先生に何かお礼をしたいと思っていたら、「お礼なんて要らないわ。あなたが日本に帰ったとき、同じように言葉がわからなくて困っている人がいたら、その人の手助けをすればいい。それで十分よ。」と言われた経験が今につながっています。

Q ボランティア活動を続ける力となっているものは?

A 「人とのつながり」を感じることができていることが日本語ボランティアの魅力だと思います。日本語教室がきっかけで、家族ぐるみの付き合いになった出会いもあります。ここに勉強に来る学習者みんながとても熱心だということ。そして、みんなが「ありがとう」と言ってくれることが何よりも嬉しくて、ここまで続けてこれたのだと思います。

## 記者の声

今回の日本語教室体験取材で感じたことは、ひらがな、カタカナ、漢字、文語、口語、敬語・・・が存在する日本語はとて難しい言語であるということ。同時に、その難しい日本語を日本語がわからない学習者に日本語で教えるということは簡単なことではないということもわかりました。また、こうした日本語学習の支援・指導の活動がボランティアであることに、本当に頭が下がる思いです。(受講料は教材費、休憩で提供のお茶代にすべて還元されています。)今回の特集が契機となり、多くの方々が日本語ボランティアや日本語教室について理解を深めることを期待します。

## 外国人のための生活情報紙Culture Pot MITO

「Culture Pot MITO」は、水戸市をひとつのpot(つぼ)に例え、その中にたくさんのculture(文化)が入っているような多文化共生社会をイメージした言葉です。

日本人には「当たり前」のことが、異なる文化や習慣を持つ外国人市民にとっては知らないことや理解に困ることがたくさんあります。Culture Pot MITOは、そんな生活のギャップを少しでも少なくするため、当協会のスタッフが外国人市民の目線で日本の生活に必要な情報を集め、英語とやさしい日本語でわかりやすく解説します。税金や保険などの制度や手続き方法をやさしく解説する「生活情報」を中心に、日本文化を楽しめる行事と会場までのアクセス方法を紹介する「イベント情報」、もっと知りたくなる日本・水戸の「歴史」などの内容で構成されています。



当センターや市関連施設、外国料理店などに置いてあります(隔月発行)

これまでの「Culture Pot MITO」は、当協会ホームページでご覧になれます。(カラー版)

<http://www.mitoic.or.jp/jp/ass/shiryo/cpm.php>

## 外国人対象のイベント・講習



消防訓練(12.14) 市内ウォッチング(11.29) 日本料理教室(11.10) スキー教室(2.15)

## 国際理解講座・国際交流パーティー

◆世界の歩き方講座～イタリア編～(10月31日、11月7日)

中部イタリアの古都フィレンツェを中心に、歴史と文化、都市の魅力や、絵画・彫刻・建築など幅広いテーマでイタリアについて学びました。

◆趣味(ホビー)となるようなテーマを英語(イングリッシュ)で楽しく学ぶホッピングリッシュ講座

～ブラジル編～(10月27日)

ブラジルの代表的なチョコレート菓子「ブリガデイロ」作りを中心に、ブラジルの歴史、文化、言語などについて理解を深めました。

～文学編～(11月17日)

アメリカのベストセラー小説「The Hunger Games」の一部を英語で読み、朗読の練習や内容に関する議論を行いました。

～スロバキア編～(12月15日)

2013年に国交樹立20周年となるスロバキア共和国に焦点をあて、文化・歴史・見どころ・クリスマスの過ごし方などについて学びました。

◆親子の国際講座～体験!世界の学校～(12月8日)

小学生と保護者が世界の学校の様子を体験しながら、ゲームやクイズ、料理作りを通して世界各地の文化や習慣について、楽しみながら理解を深めました。

◆新年パーティー(1月19日)

水戸市や近郊の外国人市民と日本人が集い、国別文化紹介やゲーム、ダンスを通して楽しい時間を過ごしました。